

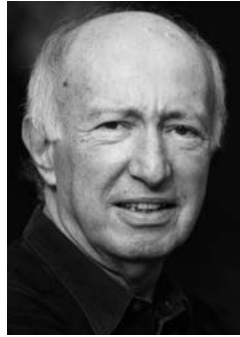


権利論

レフト・リバタリアニズム宣言

ヒレル・スタイナー著／浅野幸治訳（あさの・こうじ氏は豊田工業大学准教授）

ベーシックインカムを認めるリバタリアン？



【目次】

- 第一章 序論
 - 第二章 自由
 - 第三章 権利
 - 第四章 道徳的思考
 - 第五章 経済的思考
 - 第六章 正義
 - 第七章 原初の権利
 - 第八章 結論
- 正しい再配分

レフト・リバタリアニズム（左派完全自由主義）とは何か？ それは、万人に自己所有権と、自然資源の徹底平等な原初取得を認める完全自由主義である。個人はそれらの所有を用いて自由に活動できる。だがその結果、人類の第一世代に社会的格差が生じる。しかし、所有権の主体は生者であり相続は一切認めない。第一世代の遺産は第二世代に平等に再配分される。また個人の遺傳的特質は一種の自然資源だから、多く持つ者は少なく持つ者に補償する義務を負う……。首尾一貫した原理に基づき、こうした理論構成によって自由と平等が均

著者 ヒレル・シュタイナー（Hillel Steiner）

1942年生まれ。カナダのトロントで育ち、トロント大学で経済学を学んだ後、イギリスのマンチェスター大学で学位取得。95年に母校の政治学科教授に就任、現在は同大学名誉教授。英国学士院会員。政治哲学、法哲学の分野で多数の業績がある。

衡する社会を構想した本書（1994年）は、レフト・リバタリアニズム宣言とも言うべき記念碑的大著である。昨今のベーシックインカム論にも示唆するところ大きい。著者11月来日予定。

◆A5判・上製・500頁・本体5000円

新規オンデマンド化準備中 8月予定

基督教の起源

山谷省吾著

付：荒井献氏による解題——いま「基督教の起源」を読むために

「十字架の神学」の成立 青野太潮
5000円

組織神学 第2巻 ティリッヒ
5000円

近代プロテスタント思想史 ティリッヒ 4100円

基督教教育 高崎 毅 2600円
なぜ私は生きているか フロマー
トカ 2380円

近代の神学 佐藤敏夫 4000円
救済の神学 佐藤敏夫 5000円
キリスト教神学概論 佐藤敏夫
5000円

日本の説教者たち 加藤常昭
4300円

アブラハムの神 渡辺信夫
3300円

マルコ福音書講解説教 渡辺
信夫 1=3600円、2=
4700円

フルベッキ書簡集 フルベッキ
5700円

アガペーとエロース ニーグレン
1=3400円、2=4100円、
3=4400円

苦難と栄光の主 カルヴァン
3900円

預言者サムエル リュティ
2700円

ボンヘッファー伝 ベートゲ
1=3300円、2=4100円、
3=4100円、4=5300円

状況倫理 フレッチャー 3100円
責任を負う自己 R. ニーバー
3800円

希望の神学 モルトマン 6400円
十字架につけられた神 モルト
マン 5800円

聖霊の力における教会 モルト
マン 5200円

教会論・上下 キュンク 上=
6200円、下=5500円

信徒の神学 H. クレーマー

3200円

キリスト論要綱 W. パネンベル
ク 6900円

熊野義孝全集 7、8 (教義学) 上
=8100円、下=6900円
宗教改革の神学 北森嘉蔵
4400円

カルヴァンの神学 W. ニーゼル
4600円

カルヴァン神学論文集 5500円
教会史綱要 シューベルト
5200円

古代キリスト教思想家 カンペ
ンハウゼン 3500円

信条集 前後篇 (合本) 9500円
日本キリスト教史論 石原 謙
5200円

特高資料による戦時下のキリス
ト教運動 同志社人文研編
I、II、III=8900円

土着と背教 武田清子 5400円
内村鑑三不敬事件 小沢三郎
4000円

ヘブライ人とギリシヤ人の思惟
ポーマン 5800円

共観福音書伝承史 プルトマン
I=5200円、II=3500円

新約思想の成立 八木誠一
5300円

初期キリスト教の思想的軌跡
ロビンソン/ケスター
4000円

イエスの譬え エレミアス
3000円

パウロをどうとらえるか 荒井
献編 4000円

新約聖書の諸問題 佐竹明
3900円

ペテロ クルマン 5000円

イエスの復活とその使信 レオ
ン=デュフル 4800円

新約聖書における教会像 E. シ
ュヴァイツァー 4600円

時の中心 コンツェルマン
5200円

カルヴァン旧約聖書註解

創世記 1 4600円
詩篇 1 = 5300円、2 = 4600円、
3 = 4600円、4 = 4700円

カルヴァン新約聖書註解

1 共観福音書上 5700円
3 ヨハネ福音書上 3900円
4 ヨハネ福音書下 4000円
5 使徒行伝上 4700円
6 使徒行伝下 4400円
7 ローマ書 4900円
8 コリント前書 4700円
9 コリント後書 3200円
10 ガラテヤ・エペソ書 3600円
11 ピリピ・コロサイ・テサロ
ニケ書 3800円
13 ヘブル・ヤコブ書 3800円
14 ペテロ・ユダ書・ヨハネ
書簡 4000円

植村正久著作集 全7巻
(各4600円)

高倉徳太郎著作集 全5巻
(各4300円)

高倉徳太郎伝 小塩力 3500円

竹森満佐一講解説教

ローマ書講解説教 I = 4000
円、II = 4400円、III =
4800円

降誕・復活 3300円

山上の説教 5200円

ガラテヤの信徒への手紙 2700円

コリント人への第一の手紙
6600円

コリント人への第二の手紙
5400円

エペソ人への手紙 5400円

ペテロの第一の手紙 4700円

梅津順一著（うめつ氏は青山学院院長）
日本を建てるもの キリスト教教育と
伝道の今日的課題（仮題）

ピューリタン研究とキリスト教教育に長年従事する著者が、近代日本のキリスト教、日米キリスト教大学の歴史を振り返り、一社会科学者・信徒の視点から「体験的日本伝道論」を提示する。日本のキリスト教
 大学と教会がいま向かうべき方向とは。
 ◆四六判・予価2500円

ベルトールト・クラツパート著／武田武長ほか訳

ソクラテスの死とキリストの死（仮題）

現代において「バルト・ボンヘッファーの線」を神学的に追求し続けている著者の表題の論考をはじめ、宗教間対話、三一論、洗礼論、また「カルヴァン神学のリアリティ」など興味尽きない論考と説教8編を収録。
 著者9月来日予定。
 ◆四六判・予価2500円

ヴィクター・ファーニツシユ著／焼山満里子訳

第一コリント書の神学

パウロ研究の第一人者が、「パウロの神学」を安易に語ることを戒めつつ、伝道者・「使徒」として走り抜いた彼の、第一コリント書に込めた独自の目標・特徴を手堅く綿密に検討する。
 ◆四六判・予価3500円

ユルゲン・モルトマン著／福嶋 揚訳

希望の倫理

64年に『希望の神学』で衝撃的デビューを果たした著者が46年後に、これまでの神学的営為の総決算とも言うべき書を書き上げた。いま真の希望のありかを指し示す21世紀の倫理。
 ◆四六判・予価4500円

●6月に出た本

キリストが主だから
 いま求められる告白と抵抗 新教コイノーニア32

山口陽一・朝岡勝著



教会の社会的責任を考え続けてきた2人の論者が、戦後政治の大きな文脈の中で現在の安倍政権の施策を鋭く分析。第二次大戦下の教会の過ちと少数の先達の戦いに学びつつ、今やキリスト者の「抵抗権」と「信仰告白」に関わる事態だと訴える。
 ◆A5判・本体700円

関連する既刊書

なぜ「秘密法」に反対か

開かれた平和な国のために折りつつ新教コイノーニア28
 特定秘密保護法に反対する牧師の会編 ◆本体1300円

自民党改憲草案を読む

自民党改憲草案・日本国憲法付録
 横田耕一著 ◆本体900円

福音と世界

7月号―特集 聖書と難民

寄稿者・石川えり、飯謙、山口雅弘、金性清、橋本祐樹、黒沼ユリ子、福嶋美佐子、安戸ユリ、高橋優子、一色哲、内田樹、佐藤優、月本昭男、辻学ほか
 ◆税込635円

●参院選直前の緊急出版として出した山口陽一先生と朝岡勝先生の共著『キリストが主だから』が熱心に読まれています。第二次安倍政権の問題を徹底分析し、憲法9条の問題はもとより緊急事態条項など極めて危険な意図を抱えている政権に対して、キリスト者としてどう考え、振る舞うべきかを分かりやすく解き明かしたブックレットです。ここで指摘されているナシヨナリズムや格差などの問題、また戦前戦時下の教会の体質の問題は、選挙結果いかに関わらず今後も向き合い、考え続けねばなりません。未読の方はぜひ手にとっていただきたく思います。

●エリーザベト・モルトマン・ヴェンデル氏が6月7日に亡くなりました。90歳でした。氏はユルゲン・モルトマン氏の伴侶だっただけでなく、フェミニスト神学者として多くの業績を残し、小社からも6冊の訳書が刊行されています。夫妻のなれそめはユルゲン・モルトマンの自伝『わが足を広きところに』（蓮見幸恵・蓮見和男訳）でほぼえましく触れられています。

●原初の樂園にも労働はありました(創世記2章15節)。人類が追放されず、代

を重ねていけば、そこにも格差が生じたのでしょうか。ともあれ、ある社会で当初は機会の平等があっても、結果の不平等が蓄積されれば機会の平等自体が著しく損なわれますし、自由は有名無実化します。不断の是正措置が必要とされるのです。旧約聖書が語るヨベルの年(レビ記25章)はそのことを象徴的に示しているように思います。

連続セミナーのご案内

この国はどこへ行くのか

日本と宗教ナシヨナリズムを巡って
(第1回、第2回は終了)

第3回 7月14日(木) 19時-21時

「国家神道と日本の精神文化」

講師 島菌 進氏

(上智大学神学部特任教授)

会場 お茶の水クリスチャンセンター

東京都千代田区神田駿河台2-1

1日#508号室

7日、14日#8階チャペル

会費 無料(席上カンパあり)

主催 特定秘密保護法に反対する

牧師の会(問い合わせは

anti.securelaw.pastors@gmail.com)

福音と世界

2016年

8

A5判・80頁・定価635円・送料70円
年間予約購読料(送料共) 8460円

特集・憲法9条は有効だ

非武装市民防衛の思想

非武装市民抵抗の構想……………宮田光雄

ナチ占領下におけるルウウェーの非暴力抵抗と

「消極的平和主義」……………大島美穂

武器なき国防は不可能だろうか…三石善吉

絶対的非暴力への「躊躇」が開く

対話の可能性……………河見 誠

若者たちに再び武器はとらせない…比企敦子

正義に基づく平和の倫理…ユルゲン・モルトマン

書評・柄谷行人『憲法の無意識』……………福岡 揚

【連載】

◆新約釈義 第一テモテ書 6……………辻 学

◆聖書素読 8……………金 必順

◆消しゴム点描 8……………望月麻生

◆リレーエッセイ・聖書とわたし 8……………星野博美

◆ドイツ教会通信 9……………秋葉睦子

◆レヴィナスの時間論 17……………内田 樹

◆現代日本の福音 22……………高橋優子

◆南島キリスト教史入門 22……………一色 哲

◆ことばの履歴書 29……………佐藤 優

◆詩篇の思想と信仰 137……………月本昭男